



洞爺湖の魅力

多くの人に知ってほしい

profile

昭和54年11月4日生まれ。趣味はヨガと食べる。花和区在住。42歳。

Spotlight

スポットライト



リ：トヤ  
Re: TOYAプロジェクト代表  
塩野谷 絵美さん

「近隣の人たちが何度も足を運んでもらえるように洞爺湖の魅力を再発見し伝えていきたいです」。そう話すのはRe・TOYAプロジェクト代表の塩野谷絵美さん。出身で、大学卒業後は民間企業に就職。2009（平成21）年に地元に戻り、洞爺湖温泉街にホリデーマーケットトヤをオープンしました。「Re・TOYAプロジェクト」とは、洞爺湖の魅力

再発見、再発掘することで観光のあり方を再構築し、地域全体で国内外に発信していくためのプロジェクトで、ホリデーマーケットを含む町内5店舗の経営者たちで構成しています。「コロナ禍で観光にダメージを受けるなか、どうしたらこの街に多くの人が足を運んでもらえるのかをメンバーと話し合い、洞爺湖を周遊するリピーターを増やしたい、短期で観光に訪れる人が長期滞

在やこの街に移住したいと考えてもらえるようにとの思いから『THE MAP（ザ・マップ）』を企画し作成しました」と話します。また、このマップをきっかけに観光客だけではなく、近隣に住んでいる人たちにも再訪してもらうことで洞爺湖の魅力を発信し続けることができると言います。今後は、「これまでレークヒルファーム（花和地区）が主導となって5、6年程続けてきた国道沿いのゴミ拾いを引き継ぎ、国立公園内に位置するこの地域の素晴らしさをPRする活動をしていきたい」と続けます。

最後に塩野谷さんは、「まずはマップを循環させてリピーターを増やし、人のつながりやネットワークを広げていきたい。そして、近い将来、有珠山噴火が起きたとき、プロジェクトとして地域の人たちと連携し、復興への足掛りになるようなイベントや取組みをしていきたい」と意気込みを語っていました。

東奔西走

冬季オリンピックが開催されました。冬季史上最多、18個のメダルを獲得した選手たちの連日の活躍にとっても感動しました。パラリンピックに出場する選手たちも応援しています。(M.O)

漁業特集のため、ホタテ漁でにぎわう漁港へ。疲れも見せず作業に徹する漁師の姿に町の漁業が発展した理由を垣間見た気がします。取材に協力していただいたいぶり噴火湾漁業協同組合と漁師の皆さまに感謝いたします。(D.Y)

今月のワンショット



洞爺湖にたたずむ白鳥